

回答の中で「進ガP○」と表記されているものについては、「進学ガイドブック」の該当ページに詳しく掲載されていますので、ご参考になさってください。「進学ガイドブック」はWEB上でもご覧いただけます。→
https://www.seikei.ac.jp/jsh/upload/jsh_guidebook2021.pdf

質問項目	回答
<コロナ対応について> 2021年度入試への影響はありますか。感染症対策はどのようにされる予定ですか。 入試の際に、罹患もしくは観察中になった場合の代替え措置の有無を教えてください。	入口での検温、教室の換気、一室の人数等を検討中です。直前になりましたら、ホームページ等でお知らせいたします。中学一般入試と国際学級入試の試験範囲は従来通りで変更ありません。 東京都等の指針を参考に、現在検討中です。
<進路相談> 他大受験を希望する生徒への受験指導の取り組みを教えてください。 内部進学率はどのようになっていますか。今後の変化はあるでしょうか。 他大学を受験するために、塾へ通う生徒は多いですか。	多様な進路に対応したカリキュラムを整えています（「進ガP24」）。高3では、各自の進路に対応した18のコース（文系8コース、理系10コース）が用意されていて、入試科目に合った授業を受けることができます（進ガP5）。また、数学では高2から自由選択科目の演習を設け、入試問題に対応する指導の場としています（進ガP7）。 この3年間では、約2割から3割の生徒が成蹊大学への内部推薦を利用しています（「進ガP24」）。年によって変動があるため、今後の変化については予測できません。 進路に応じて、学校の授業と、塾の講座を上手に使い分けるという利用の仕方が多いようです。
<学校・生徒の雰囲気やルール> 校内や生徒の雰囲気が知りたいです。1日のスケジュール例なども教えてください。 学校の勉強についていくために塾に通う生徒は多いですか？ いじめ等のトラブルの対応はどのようにしていますか？	8:15～朝礼で、金・土は朝学習の時間になります。教科によって教室移動も多く、生徒同士が声を掛け合って、授業準備をし、和気あいあいと学習に向かいます。昼休みは、今はコロナの影響で、教室で黒板を向いて、私語をせず昼食をとりますが、通常は、生徒ホールなどを利用して、楽しくおしゃべりをしながらのランチタイム、わずかな時間ですが、気分転換に前庭出て遊ぶ姿が見られます。午後の授業を終えて終礼、清掃、そして、足早に部活へと生徒は向かいます。多くの生徒は下校時刻いっぱいまで、部活に夢中になって過ごします。4～10月 最終下校時刻18時（高校18：30） 11～3月 17時30分です。 学習内容に関しては、基本的に塾に行く必要はありませんが、家庭学習の習慣の身についていない、一人では勉強できない生徒は、塾を利用しているようです。多くはありません。 元気に仲良く、特に学年が上がるごとに、男女で互いを尊重しあって、クラスづくり、行事づくりが行われています。いろいろな背景を持った生徒たちがいますから、人間関係のトラブルは生じます。その場合は、担任、学年、顧問、教科担当者、それぞれの立場で適切な対応を考え、常駐するカウンセラーの指導を仰ぐこともあります。

<ワンキャンパスでの一貫教育について> 高校生や大学生との交流はありますか。（例えば、学習のチューター制度や、クラブ活動の指導等）	多くの運動部は、普段は中高別に活動していますが、合宿や行事などで合同で行う部活もあります。音楽系の部は合同で活動しています。大学生（卒業生）はクラブ活動のコーチとして指導に入ってくれることもあります。また、大学生活、受験勉強、入試などの紹介をしてもらうこともよくあります。
<通学> 生徒の主な通学手段を教えてください。	通学時間は平均1時間ほどです。吉祥寺駅から関東バスを使って「成蹊学園前」まで通う生徒が多いです。近隣の駅からの自転車利用やムーブスなどのコミュニティーバスの利用は認められていません。吉祥寺駅から徒歩で通学する場合の所要時間は約20分です。自宅からの自転車通学については「進学ガイドブック」P53Q7をご覧ください。
<クラブ活動> クラブの種類及び活動日数、入部率はどのようになっていますか。	中学では文化部が14団体、運動部が12団体あります。活動日数は休日を除き原則として週4日以内の活動としています。入部率は年によって異なりますが、毎年9割を超える生徒がいずれかの部活動に所属しています。詳細は進学ガイドブックp.22-23、もしくはホームページをご覧ください。
<授業・学習> 英語の習熟度について考慮された授業がありますか。 資格取得指導はありますか。 英語はどのようにクラス編成されていますか。 補講、休暇中の講習などがありますか。	アルファベットの発音から始まり、1つ1つ丁寧に積み上げていきますので、心配はいりません。 英検を校内で受験できるようにしています。質問などには個別に対応しております。 小学校での英語の授業時間数を基に経験別で構成されています。詳しくは「進ガP8」をご覧ください。 全体に向けての夏季・冬季講習は行なっていませんが、個に応じたきめ細かい指導を行っております。
<ICT教育について> ICT教育の取り組み、対応について教えてください。	休校期間中にはMicrosoft365を1人1アカウント付与し、Web上での朝礼・面談や、家庭課題・授業動画の配信を行っていました。通常登校が始まってからも、連絡はこのアプリケーションを用いて行っています。また、以前から教員へはタブレットが支給されていましたが、今年度からは貸出制ですが、生徒もタブレットが使用できるようになり教育の幅が広がりました。
<合否について> 出願時の成績表提出について、出席日数が合否に関係しますか 出願時の住所（遠方）が合否に関係しますか 複数回受験について、優遇はありますか？	和田 欠席日数のカウント基準について学校に確認することをお勧めします。ご家庭の認識とかけ離れた日数にならないようにあらかじめ把握しておく方が良いでしょう。コロナによる休校や欠席等は合否に影響しません。 入学手続きその他で実際に連絡先として機能する住所をご記入ください。合否には影響しません。 加点する、というような制度的なものはありませんが、補欠から繰り上げ合格とするときに優先することがあります。

<留学について> 留学する生徒の割合はどれくらいですか。また、選考について知りたいです。	長期短期留学それぞれに応じた選考があります。成績の基準があるものや面接があるものなど希望者全員が行けるというわけではありません。成蹊独自の3つの長期留学は中学3年～高校2年から各プログラム1名ずつが選ばれます。サマープログラムなどの短期留学は高校1年生を中心に1～2割程度が参加しています。学校の独自プログラムをはじめ、ロータリー、A F S、Y F Uのプログラムは次の学年に進むことが可能です。
<その他> PTA活動はどのようなものがありますか？ <寄附金> 任意の寄付金は、大抵のご家庭は寄付されているのでしょうか？	保護者のコミュニティー活動として通常であれば、制服などのバザー（学園祭）、会報の制作、卒業記念品の手配などを行っていただいています。 多くのご家庭からご支援をいただいております。国際理解教育活動やICT教育の充実など、時宜を逃さず柔軟に施策を実施することなどに役立っています。